



市会だより

第77号

平成27年(2015年)
12月15日発行

京都市会ホームページ

<http://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

●発行/京都市会 ●編集/京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713

9月24日~
10月29日
開催

9月市会の報告 後半の報告 ~10月5日から10月29日まで~

京都市会では、平成27年9月市会を9月24日から10月29日までの36日間開催しました。今号では、後半の10月5日から29日までの議論や審議結果を中心に、9月市会全般についてお伝えします。

平成26年度決算を認定しました

市長

- ・実質収支の黒字を維持・拡大(全会計343億円)
- ・実質市債残高を縮減
(全会計平成26年度末残高 1兆7,970億円、対前年度比 377億円減)
- ・臨時財政対策債(国が発行額を決定し、返済に責任を持つ市債)の残高は累増(平成26年度末残高 3,531億円、対前年度比 384億円増)
- ・市バス事業は一般会計からの任意補助金に頼らない「自立経営」を実現、地下鉄事業は経常損益の赤字が9億円に縮小
- ・水道事業・公共下水道事業ともに経常損益は黒字を確保



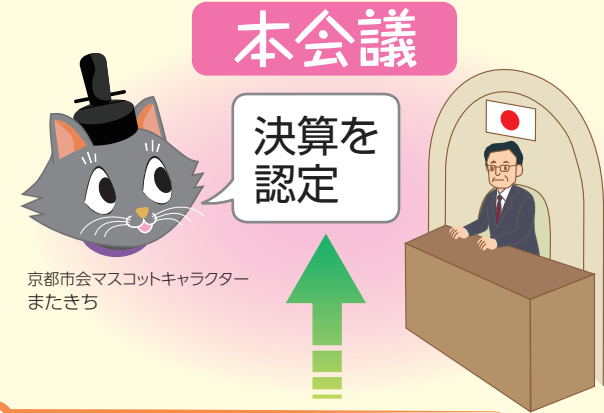
全会計決算規模
1兆5,884億円

本会議

決算特別委員会を設置し、
詳細な審査を委ねました。

Q 連結決算で黒字を拡大したが、社会福祉費が毎年伸び、特別の財源対策なしに予算が組めません。決算と今後の財政運営に対する認識を尋ねます。

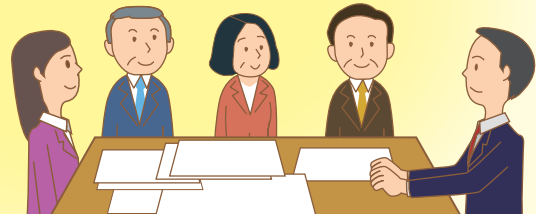
A 実質市債残高を引き下げたが、財政基盤がぜい弱なことに変わりがなく、今後も京都経済や市民生活の向上により将来の税収を担保するとともに、国に臨時財政対策債廃止を要望します。



京都市会マスコットキャラクター
またきち

Q 財政黒字というが、生活保護の夏季・歳末見舞金の廃止や国民健康保険料の滞納者への取り立てなど、一番の弱者をターゲットに抑制策を進めた結果ではないでしょうか。

A 行財政改革により福祉予算を増やし、全国トップレベルの福祉を維持向上させています。自立支援の取組により生活保護受給率は減少しており、国民健康保険料引下げなどの対応も行っています。



決算特別委員会

9月市会では、9月24日に75件の議案が市長から提出されました。そのうち、至急審議する必要があった2件の議案を9月30日の本会議で審議し、平成27年度一般会計補正予算に対して、削減した議員報酬7,700万円を7月の台風11号による災害対応などに活用する修正を行い、その他1件の議案や当日議員が提出した決議とともに可決しました。

残りの議案については、決算とその関連議案を決算特別委員会に、その他の議案を常任委員会に付託し、詳細な審査を行い、10月29日の本会議において、全て可決しました。さらに同日の本会議では、市長から追加で提出された監査委員の選任などの議案10件を可決した後、意見書の提出に関する議員提出議案9件についても審議し、3件を可決しました。

日程	会議名	
9月24日	本会議	詳しい内容は前号(11月15日発行)に掲載。
9月25日	予算特別委員会(局別質疑)	
9月29日	予算特別委員会(討論終了)	
9月30日	本会議	3つの分科会に分かれて、担当する局ごとに決算の審査を行いました。
10月1日・2日	本会議(代表質問)	
10月5日	決算特別委員会(書類調査)	各局への質疑を基に、市長などに対して、質疑を行いました。
10月6日~9日・13日・14日	決算特別委員会(局別質疑)	
10月20日・21日	決算特別委員会(市長総括質疑)	議案に対する委員会としての結論を出しました。
10月22日・23日	常任委員会	
10月28日	決算特別委員会・常任委員会(討論終了)	
10月29日	本会議	

目次

2面 9月市会審議結果／主な審議結果の解説
3面 常任委員会の動き(平成27年4月~10月)

4面 京都市会のココが知りたい!(第3回)
市会改革レポート／市会からのお知らせ ほか